

「健康×スポーツ」

テーマにイベント

女子ソフト、ホーム開幕で

今年発足した女子ソフトボール新リーグ「ニトリJDリーグ」の第4節「さいたまラウンド」が23、24日にさいたま市大宮区のレジデンシャルスタジアム大宮で行われた。今季初のホームゲームとなった戸田中央メディックス埼玉の運営母体の戸田中央メディカルケアグループ(以下TMG)が中心となり、「健康×スポーツ」をテーマにさまざまなイベントが実施された。

球場外に設けられた健康コーナーでは、血管年齢や骨密度測定、看護・介護相談など



健康コーナーで血管年齢測定をする来場者ら。24日、さいたま市大宮区のレジデンシャルスタジアム大宮

健康関連の無料ブースが開設されたほか、家庭で余っている食品を持ち寄って子ども食堂や福祉施設などに寄付するフードドライブも実施。TMGのボートチーム「戸田中央総合病院ローイングクラブ」の競技用ボートの展示や、ボートの陸上トレーニングマシン「ボートエルゴ」体験会なども行われた。

TMGの中村毅会長は「よりの地域に愛されるチームを目指し、今年からチーム名に埼玉を入れた。地域に応援されるチームづくりやイベントを通じてJDリーグをアピール

していきたい」と話した。

戸田中央メディックス埼玉の今節の戦績は、23日のNECプラットフォームズ戦が2対1、24日の太陽誘電戦が5対2でホーム連勝を飾った。今後のホームゲーム(第9節 6月4・5日、朝霞中央公園野球場 第11節 6月18・19日、本庄市ケイアイスタジアム)でも同様のイベントが行われる。(土沢貴弘)